

新鮮な血液がたっぷり

…吉商生が集団献血…



85,000本。県下で1年間に輸血に必要な血液量(1本200CC)です。したがって1カ月平均7000本必要なわけです。ところが12月は例年、交通事故などの増加にともない血液が不足します。ぎゃくに、献血は12月になると減る傾向にあります。

この話を聞いた市立吉原商業高校(土屋昌久校長)の生徒は12月6日に集団献血をしてくれ

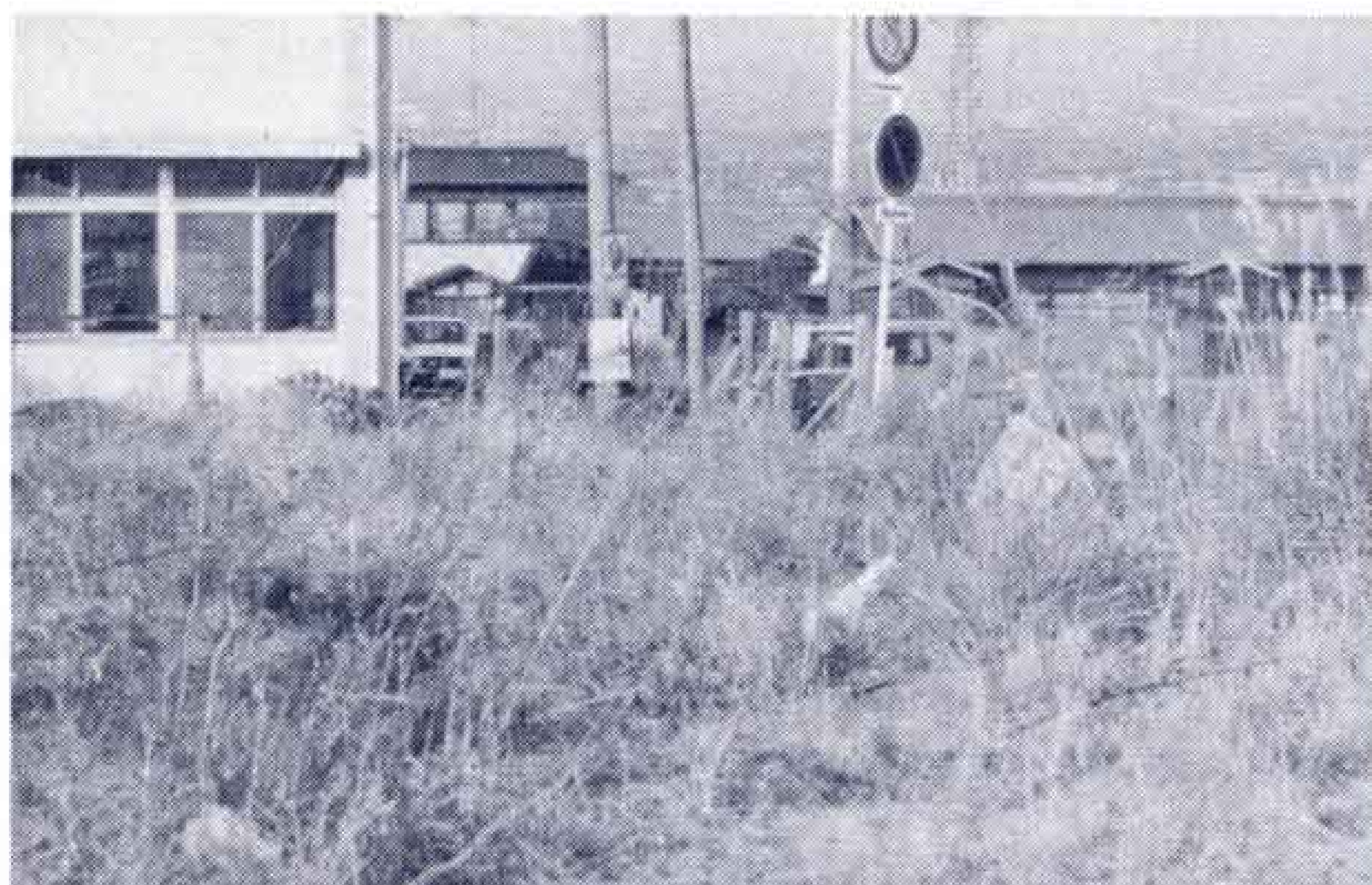
ました。

この日に献血をした生徒は220名で、初めはこわごと腕を出していた生徒も、献血した後看護婦さんから「献血手帳」をもらいニコリ…。また、採血にあたった先生から「新鮮で栄養のある血液ですよ」といわれお喜びでした。

なお、第2回目には200名が献血する予定です。

火災予防コーナー ③

あき地の草刈りを



投資的な目的やマイホーム建築のため土地を購入したが今すぐに利用しないからといって、あき地にしておく。そこに燃えやすいものを積んでおいたり、草を延びほうだいにさせてありませんか。夏の間は草が青々として、燃やそうと思ってもなかなか燃えるものではありませんが、今は枯草となって火がつきやすくなっています。

これからは空気も乾燥し風も強く、タバコの火や子どもの火遊びで思わぬ火災になっ

てしまいます。昨年も21件の枯れ草火災が発生しましたがほとんどが1月から3月までに発生しています。

そこであき地の火災予防をはかるため、富士市火災予防条例の一部を改正して、あき地の所有者、管理者、占有者に、あき地の正しい管理を義務づけました。したがって、あき地の枯草などは刈取るなど火災予防上必要な措置を行わなければなりません。みなさんあき地の管理は正しく行なってください。

年末年始の

当直医院

休日当直医院は、富士市医師会が急病者のために定めたものです。ところが、最近、かかりつけの医院がやすみなのでみてくださいと、当直医院に来る人が多くなりました。特に医療センターに多く、急病者の診察に支障をきたしていますので、当直医院は急病のときにだけご利用ください。

■12月30日

外科 井上医院(今泉3 52-0988)
渡辺病院(錦町1 51-3751)
産婦人科 吉見医院(吉原4 52-2399)

■12月31日

外科 藤井医院(松岡 61-7811)
芦川病院(中央町2 52-2480)
産婦人科 窪田医院(平垣 61-3100)

■1月1日

外科 神谷医院(川成島 61-5900)
中央病院(本市場 61-8800)
産婦人科 中央病院
(本市場4区 61-8800)

■1月2日

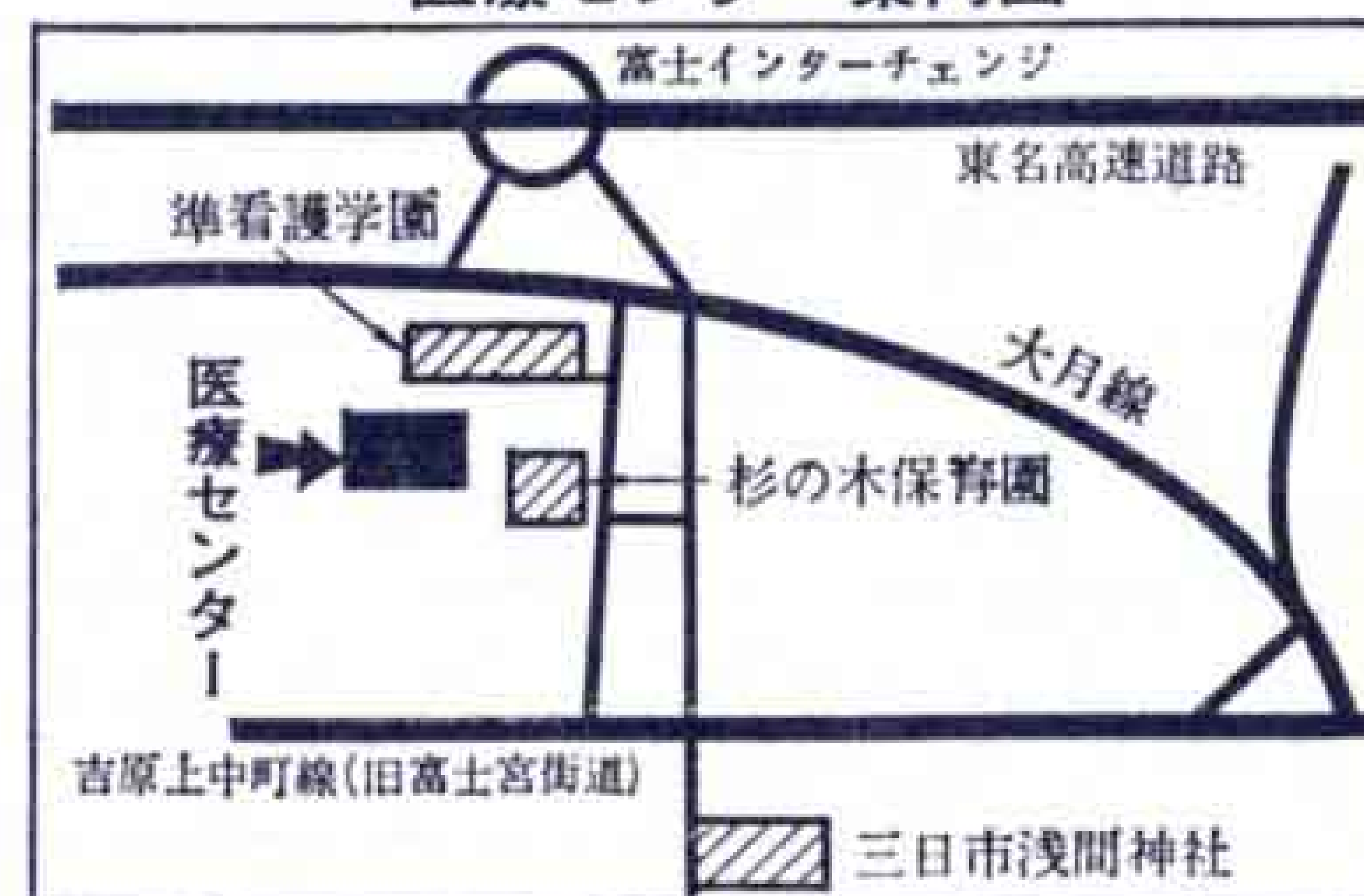
外科 吉田医院(石坂 51-2515)
米山病院(吉原4 52-3060)
産婦人科 米山病院(吉原4 52-3060)

■1月3日

外科 戸田医院(横割1 63-5212)
吉原病院(南町 52-0780)

産婦人科 柵山医院(厚原 71-4771)

医療センター案内図



※内科、小児科は富士医師会が「医療センター」で行っています。診療時間は午前9時から午後5時までです。医療センターの住所は「富士市伝法字杉ノ木2850-2(長者町)」電話は52-3104です。